

「情報公開文書」

研究課題名：高齢者乳がん検診の実態調査と検診対象年齢の上限設定に関する研究

研究責任者：東北大学病院 総合外科 乳腺・内分泌外科 佐藤章子

共同研究者：東北医科薬科大学乳腺内分泌外科 鈴木昭彦、公益財団法人
宮城県対がん協会 情報システム課 渡辺 浩之

1. 研究の対象：2011（平成23）年度～2016（平成28）年度の宮城県対がん協会における対策型（市町村実施）検診のマンモグラフィ単独受診者

2. 研究目的・方法：

【目的】がん検診の目的は対象集団の死亡率減少であり、マンモグラフィはその効果が証明された唯一の乳癌検診方法である。しかし75歳以上に対する乳がん検診のエビデンスは存在せず、高齢者に対する検診は過剰診断を含む不利益を生じる可能性がある。これに対して諸外国では受診年齢の上限が設定されているが、わが国では上限がない。受診者の不利益の軽減や限られた医療資源の効率化のために、わが国でも検診受診対象年齢の上限設定が必要であると考えられる。本研究ではその基盤となるデータを提示することを目的とする。

【方法】検診受診対象者の年代別（5歳階級）の受診者数、要精査者、要精査率、発見癌、PPV%、癌発見率、発見癌の進行度、サブタイプ、治療方法などを後方視的に調査し75歳以上の高齢者の検診発見乳癌の特徴を把握し、過剰診断などを加味した検診至適年齢を検討する。対象データは宮城県がん登録の年齢階級別罹患率や検診結果、検診結果調査票を使用する。

【研究期間】2018年12月14日～2020年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：検診時年齢、組織型、臨床進行度、サブタイプ、治療方法 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：東北大学病院 総合外科 乳腺・内分泌外科 助教 佐藤章子

〒980-8574 住所宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

TEL：022-717-7214